

平成30年度 第1回 常任理事会議事録

日 時 平成30年4月21日(土) 9時30分～11時00分

場 所 北海きたえーる小研修室

出席者 渋谷研一、大江憲一、黒田謙二、田中昌幸
沓沢幸一、櫻庭功一、春間好実

<進行：大江副理事長>

1. 開 会

※議事録署名人に渋谷理事長、大江副理事長、黒田副理事長の以上3名とする。

2. あいさつ（渋谷理事長）

4月7、8日に各委員会の会議開催で今年度が始まり、今年度もよろしくお願ひしたい。4月18日に世界選手権大会第1回目の実行委員会が立ち上がり本格的に始まる。入場券部長を印藤副理事長とし、黒田副理事長、渋谷を中心に準備等を進めていく。また、本日は午後から監査があり来月の理事会、評議員会で平成29年度を締めるということで、本日の会議をよろしくお願ひする。

3. 協議事項

(1) 平成29年度運営の基本方針に基づく取り組み状況について（各委員長）

- 総務委員会 世界バレー、ワールドカップの成功に向け取り組む、体罰・暴力・暴言などの根絶については事案が生じ現在倫理委員会で対応している。
- 競技委員会 大会の円滑な運営、若手の発掘を重要課題として取り組む。6・9総合大会のさらなる拡充をクラブ連盟共々充実していきたい。
- 審判委員会 記載の通り実施していく。
- 強化委員会 各カテゴリーの強化、ヴォレアス北海道との強化の関わり、選抜スタッフの研修会を実施した。
- 指導普及委員会 4月の研修会にアンガーマネージメントの研修についてを追加した。

(2) 平成29年度事業報告（各委員長）

- 総務委員会 各種会議の開催、健全な財政運営、MRS、国際大会、体罰・暴力・暴言などの根絶についての説明がある。
- 競技委員会 天皇杯・皇后杯の参加数が伸びない。6・9総合大会の参加チームから数チームクラブ連盟に登録がある等の報告がある。
- 審判委員会 記載の通り各事業を終了した。A級審判資格取得講習会に参加した藤井靖香氏（札幌）、川島秀夫氏（北見）は両名とも9月1日付でA級候補審判員として認定された。9人制特別A級審判員資格取得講習会に参加した柴田一徳氏（名寄）は11月1日付で9人制特別A級審判員として認定された。

- 強化委員会 記載の通り事業を終了した。競技力向上事業報告について追加がある。
- 指導普及委員会 記載の通り事業を終了した。

(3) 平成 29 年度一般会計・特別会計決算（総務委員長）

- ・一般会計の収入決算は交付金が道体協、天皇杯・皇后杯の減、基本金は美唄協会合併による減、賦課金はチーム登録数減少による減、大会参加チーム減少による減、審判員登録料の減、MRS 配布金の増、支出決算は事業費が大会参加料としたため減、会議費、旅費については経費の節減に努め減、収入から支出を差し引いた 979,298 円を平成 30 年度に繰り越す。
- ・特別会計の財政調整基金は谷本顧問ご逝去に伴い谷本家より寄せられた 20 万円を繰り入れし、1,020 万円、特別事業等基金は 1,510 万円、強化育成基金は支出が 380 万円あり 541 万円の繰り越しとなる。
- ・今年度新 MRS の移行が終了後から賦課金、助成金の見直しを着手する。

(4) 世界バレー 2018 女子札幌大会について

- ・チケット販売について、道新プレイガイドの了解を得る。その他の窓口についてローソンチケットを検討する。
- ・先行予約販売について 5 月中旬以降、各加盟団体に通知する。
- ・当日券販売スタッフの人員確保については総務・表彰式典委員会からお願いする。
- ・サポート札幌には 8 月号に世界バレーの広告を掲載する。

(5) その他

- ・評議員会の日程確認 理事会が午後 1 時半から、評議員会は午後 3 時から開催する。内容は協議事項では事業報告関係、決算報告関係、報告関係では前回理事会資料による事業計画及び予算の説明とする。

4. 報告事項

(1) 日協関係

- ・6 月下旬開催のブロック理事長会議、全国加盟団体代表委員総会が予定されており代表委員総会の場で功労表彰式がある。

(2) 各委員会

- 総務委員会 今年度の JVA 表彰対象者の人選をする。道体協の表彰対象者の人選をする。
- 競技委員会 4/7 全道地区競技委員長会議を開催、加盟団体のクラブ連は石井氏、実連は田中氏が問い合わせの窓口となる。札幌協会より次年度天皇杯・皇后杯都道府県ラウンドを返上したいとの申し入れがあった。加盟団体からはチーム数が減っているという現状報告がある。9 人制の活性化については総合大会を利用していきたい。協会の新ホームページは 6 月以降に切り替え予定、掲示板の運営方法は削除も含めて検討する。天皇杯・皇后杯都道府県ラウンドの参加料は昨年度と同様とする。世界バレーのスタッフは各委員会での人員配置を主にする。

- 審判委員会 4/7 審判委員会、翌日ブロック A 級講習会を開催する。6 人制、9 人制共にルール
の大幅な変更点は無い。各地区連盟の講習会がスタートした。
- 強化委員会 4/29 に北海道高校男子バレーボール強化練習会を開催する。国体に向けての第 1
回目の選考会となる。成年の国体に向けて、クラブ連、学連、ヴォレアス（V リーグ）に北海道
選抜での国体参加（ブロック予選会出場）を打診している。
- 指導普及委員会 3 月の選抜大会は終了した。4 月の指導普及委員長会議でアンガーマネージメ
ント講習を行い、80 名を超える参加があった。
- 実連 5/26 総会を予定している。
- 学連 4/22 審判講習会を実施し、次週から 1 部リーグが始まる。
- 中体連 今年度中体連は札幌大会となり、例年 2 日目の終了時間が遅くなるため、開会式後、予
選の 1 試合を実施する。
- クラブ連 5/12, 13 会長杯争奪大会が新冠町を中心に 6 男 8、6 女 11、9 男 3 で開催する。
- ビーチ連 3/24 に総会を実施した。全道規模の大会を石狩（8/25 予定）で開催する。
- ヤング連 MRS 登録についてヤング連盟で登録か U14 で登録するかを確認する。

(3) その他

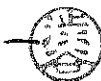
- ・V リーグ実行支援の一員として反省点を報告した。（黒田副理事長）
- ・芦別で実施の中学生優秀選抜大会が 3 年後に 30 回となるため、周年イベントについて検討する。
- ・強化委員会では優秀選抜大会に指導者に向けての研修会を講師を招いて 1 時間半程度実施、また
生徒もテーマを用いた座学の講義を実施した。
- ・日本スポーツマスターズについて、5 月下旬に日体協と経理関係の打ち合わせがある。5/9 から
韓国の全国生活体育大祝典に生島会長、高坂監事、石井札幌事務局長、9 人制女子チームが日韓
スポーツ交流・成人交流（派遣）に向かう。
- ・世界バレーで屋外の出店は可能か、イベントは可能かを検討する。

5. 閉会


【次回：平成 30 年 5 月 19 日（土）10 時 30 分・北海きたえーる小研 1】

議事録署名人

理事長

渋谷 研 

議事録署名人

大江 憲一 

議事録署名人

黒田 謙二 